

外来検査課
ユースキャナー
U-scanner
(尿中有形成成分分析装置)

尿検査について

はじめに

尿検査は採取が簡単にでき、痛みもなくできる検査ですが、病気の診断などを行う上でとても大切な検査となっています。健康であると思われる人も、尿検査では驚くほどの頻度で異常所見が現れます。尿はたくさんの秘密を隠し持っています。これらの秘密は、尿を慎重に検査することによって解明できます。

尿は宝の在りかを示した地図に例えることができます。この地図には多くの道しるべがあり、道しるべがあるものは容易に宝の在りかへと導いてくれます。

尿検査の変遷

尿検査は人類史上最も古い検査で、ヒポクラテスの時代から行われてきました。当時は、尿を肉眼で観察する方法でした。当院では、今から約30年前、試験紙を目視で判定し、手書きで医師などへ報告をしていました。そして、約15年前からは全自動の尿定性の機械「クリニテックノーバス」(現在使用しているのは2代目)を導入しています。スピッツ(採取した尿を入れる容器)に尿を分注し、機械にセットします。続けて、スタートボタンを押すだけで、すべての検査を行うことができ、さらに、オンラインで結果が出ます。以前に比べこれはとても画期的な方法です。

尿検査は初診に含まれている検査のため、件数は年々増加傾向にありました。実は「クリニテックノーバス」を導入した後も、沈査については目視で行う必要があり、ひとつひとつ臨床検査技師が目視確認を行ってきました。しかし最近、沈査まで自動で行うことが可能な検査機器が登場し、これを当院でも導入しました。今回は当院の外来検査室に設置している沈査まで自動で行うことが可能な「U-scanner」についてご紹介します。

*尿定性・・・尿中に検査対象の物質が一定濃度以上あるかを調べること。

*尿沈査(にようちんさ)・・・尿を遠心分離器にかけたときに沈殿してくる赤血球や白血球、細胞、結晶成分などの固形成分のことをいいます。これらを顕微鏡で観察し、尿沈査の数の増加や有無を調べて、腎臓などの異常の診断や病状の経過観察を行います。

検査の様子

1階外来検査室の奥で検査が行われています。



装置の中

試薬セット部が中に入り、ここに尿をセットして検査していきます。



尿検査でわかること



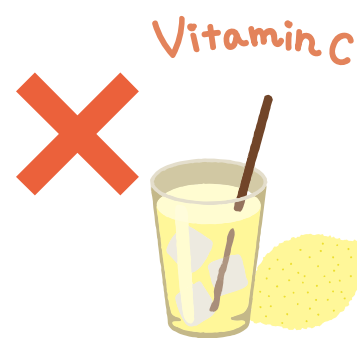
- その他、妊娠反応や薬物、脱水症状や飢餓状態、結石など尿検査でわかることはたくさんあります。



U-scanner(左)・クリニテックノーバス(右)
尿のすべての検査ができ、オンラインで結果がでます。

尿検査前の注意点

検尿する前には、ビタミンCが入っている飲み物は飲まないようにしてください。ビタミンCの影響で、潜血や糖の項目が本来は(+)であるはずが(-)になってしまうことがあります。健康な状態で検査を受けたいと、ビタミンCが含まれる栄養ドリンクを飲んで、真っ黄色の尿を出される方もいらっしゃいますが、正しい検査結果が出なくなってしまうので注意してください。



U-scannerについて

1件の検体につき、48枚の写真を撮ります。その写真を表示画面で確認しながら、臨床検査技師が結果を確定させていきます。この機械は主に健康診断を中心に使用しています。この機械の導入により毎日の健康診断の検査は、従来の約3分の1の時間でできるようになりました。今後はU-scannerをさらに活用し、外来の検体にも用途を広げていければと考えています。